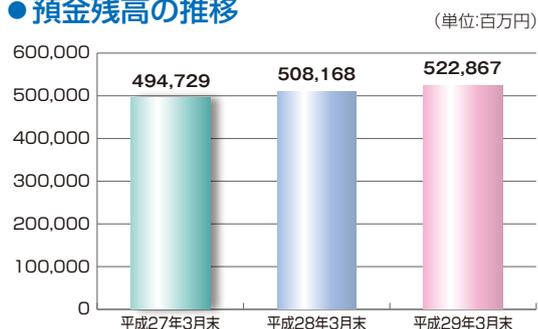


金融機関の総合的な競争はますます厳しくなっておりますが、地域のみなさまのご支援により、預金、融資、収益等の各部門で、次のような業績を挙げることができました。

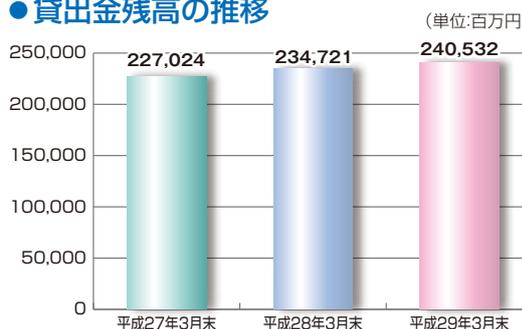
## 業績は堅調を維持しております。

### ■ 預金・貸出金の状況

#### ● 預金残高の推移

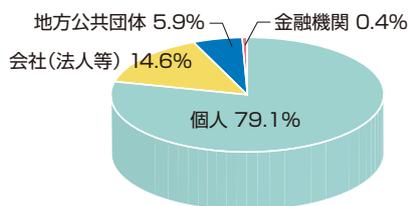


#### ● 貸出金残高の推移



#### ● 預金積金について ▶ 詳細P46

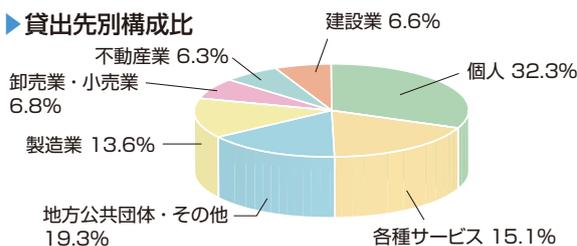
##### ▶ 預金者別構成比



▶ 預金積金残高 5,228億円

#### ● 貸出金について ▶ 詳細P47

##### ▶ 貸出先別構成比



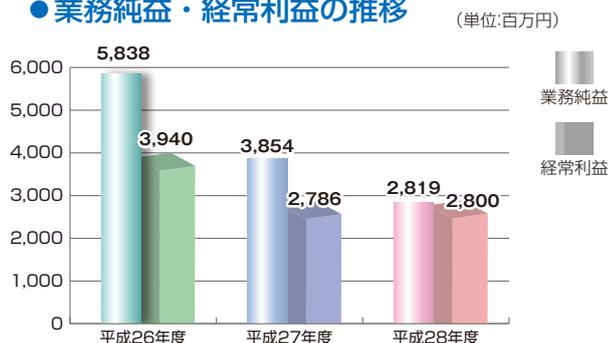
▶ 貸出金残高 2,405億円 ▶ 預貸率(注1) 46.0%

※貸出金は原則として会員の方にご利用いただきます。  
(注1) 預金の残高に対する貸出金の残高の割合を預貸率といいます。

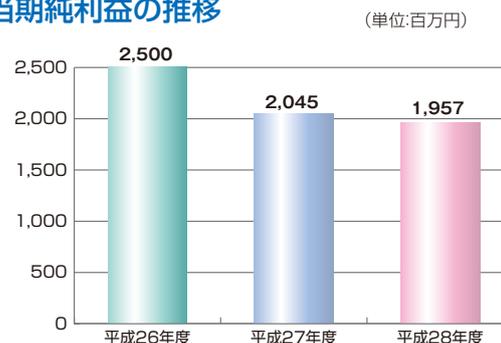
預金の期末残高は、法人預金が前年度比で77億94百万円、個人預金が69億4百万円の増加となったため、総体では146億98百万円増加し、5,228億67百万円となりました。また、貸出金の期末残高は、個人向け貸出金が前年度比で37億99百万円増加し、事業向け及びその他貸出金については20億11百万円の増加となったため、総体では58億10百万円増加し、2,405億32百万円となりました。

### ■ 損益の状況

#### ● 業務純益・経常利益の推移



#### ● 当期純利益の推移



前年度と比べて減益となったものの、利益レベルは高い水準を維持しております。

# 有価証券の含み益は302億円。

## ■有価証券の状況

### ●平成29年3月末／保有有価証券の時価情報 (単位:百万円)

		取得原価	時 価	評価差額
保有有価証券	株 式	7,708	10,357	2,648
	債 券	240,253	263,789	23,536
	その他	34,651	38,691	4,039
合 計		282,613	312,838	30,225

お客さまからお預かりした預金のうち、貸出金に回らない資金は主に有価証券にて運用しております。堅実な資金運用と運用資産の健全化に取り組んだ結果、当期末の有価証券の含み益は302億円にのぼりました。これは、信用金庫業界トップクラスの水準です。

# 自己資本の額は522億円。

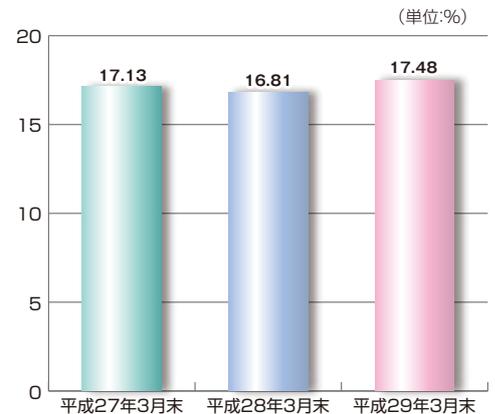
## ■自己資本比率

### ●自己資本比率の推移

分子である自己資本の額は、当期純利益19億57百万円を計上したことなどから、前期末比4.39%増加し522億89百万円となりました。一方、預金の堅調な増加に伴い総資産額は2.85%増加しましたが、その過半がリスクウェイトの低い預け金に振り向けられたことなどから、分母であるリスク・アセットは前期末比0.35%の増加にとどまりました。

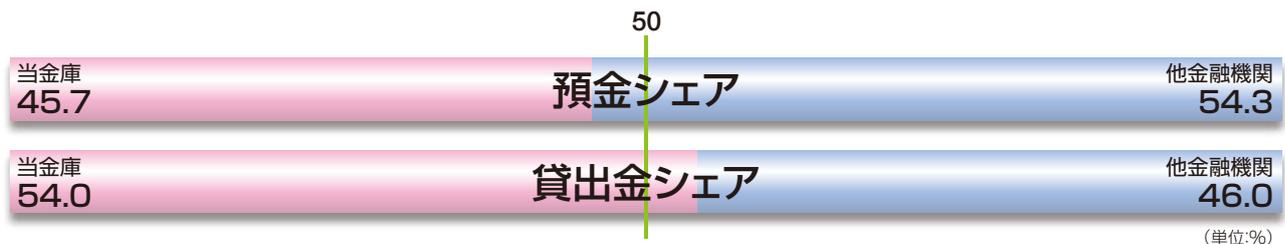
この結果、当期末の自己資本比率は、前期末の16.81%から0.67ポイント上昇し17.48%となりました。

当金庫の自己資本比率は国内基準の4倍以上となっており、強固な体質を維持しております。



# 地区内シェアはNo.1。

## ■地区内シェアの状況



地域のみなさまから厚い信頼をいただき、当金庫の主要営業地区である飯田・下伊那の金融機関(ゆうちょ銀行を除く)内における預金残高シェアは45.7%、貸出金残高シェアは54.0%となっております。(みなみ信州農協は2月末、その他の金融機関は3月末の残高による比較) ※他金融機関は、飯田下伊那地区内の銀行、信用組合、農協における預金、貸出金の合計